



613-000061 Rev.E 060714



最初にお読みください

CentreCOM WR540APS リリースノート

この度は、CentreCOM WR540APS をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解
いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.0.0

2 バージョンアップ時のご注意

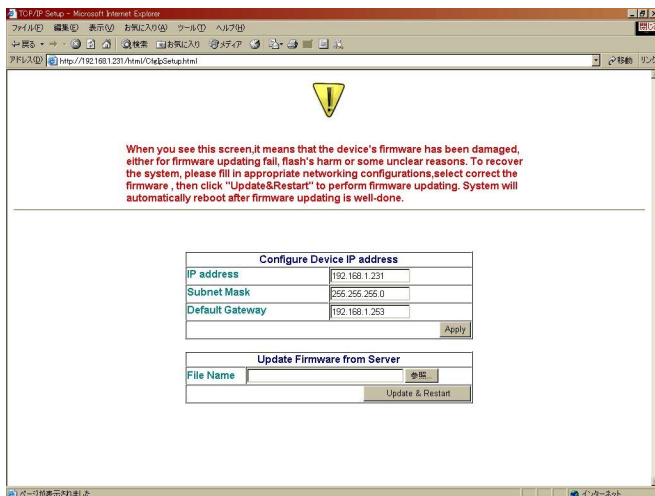
ファームウェアをバージョンアップする前に、本製品にバックアップコードをインストールし
てください。バックアップコードのインストールは、ファームウェアのバージョンアップと同
じ手順で行います。




注意 本製品の起動後 1 分以内に、バックアップコードのインストールおよびファームウェアのバージョンアップを行わないでください。

- 1 弊社ホームページから、本製品のバックアップコードと最新のファームウェアをダウンロードします。
- 2 設定画面のメニューバーで「詳細設定」をクリックし、左側に表示されたメニューから、「ファームウェアの更新」をクリックします。
- 3 「参照...」ボタンをクリックし、バックアップコードを選択してから、「OK」ボタンをクリックします。バックアップコードのファイル名は、「WR540APS_V1_backup_cede_v101.ftp」です。
- 4 ファームウェア更新の確認ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。バージョンアップコードのインストールが終了したら、本製品を再起動します。
- 5 続けて、ファームウェアを更新します。手順 2 を繰り返します。
- 6 「参照...」ボタンをクリックし、ファームウェアファイルを選択してから、「OK」ボタンをクリックします。ファームウェアのファイル名は、「WR540APSV200.ftp」です。
- 7 ファームウェア更新の確認ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。バージョンアップコードのインストールが終了したら、本製品を再起動します。
- 8 ファームウェアバージョンが、「2.0.0」と表示されていることを確認します。

バックアップコード、ファームウェアのバージョンアップの手順は、以上で終了です。
 ファームウェア更新中に問題が発生すると、次の注意画面が表示されます。この場合は、「参照...」ボタンをクリックし、ファームウェアファイルを選択し、「Update & Restart」ボタンをクリックしてください。




 **注意** 本製品が再起動するまでの間は、絶対に電源を切らないでください。書き込み中に電源を切ると、本製品を再起動できなくなる可能性があります。

3 本バージョンで追加された機能


ソフトウェアバージョン 1.0.1 から 2.0.0 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

3.1 認証方式について

 **参照** 「ユーザーマニュアル」70 ページ


対応する暗号化の認証方式に、「WPA2/WPA2-PSK」が追加されました。

3.2 セカンダリー RADIUS サーバーのサポート

 **参照** 「ユーザーマニュアル」73, 75 ページ


セキュリティ設定で、認証方式に「IEEE802.1X」、「WPA」または「WPA2」を選択した場合に、RADIUS サーバーを 2 台まで設定できるようになりました。

3.3 本製品に接続可能な無線端末の台数を制限

 **参照** 「ユーザーマニュアル」77 ページ


WDS 設定で「アクセスポイントモード」を選択した場合、接続可能な無線端末の台数を制限することが可能になりました。

3.4 AP 検索機能

 **参照** 「ユーザーマニュアル」77 ページ


WDS 設定で「LAN 間接続モード」、「リピーターモード」、「クライアントモード」を選択した場合、通信可能なアクセスポイントを検出する機能が追加されました。

3.5 ログ機能追加

 **参照** 「ユーザーマニュアル」79 ページ

本製品に発生したイベント情報を表示するログ機能が追加されました。また、syslog サーバーへのログ転送、SNTP サーバーからの時刻情報取得も可能です。

3.6 DHCP サーバー機能

 **参照** 「ユーザーマニュアル」81 ページ

無線端末に IP アドレスを割り当てる、DHCP サーバー機能が追加されました。

3.7 リンクリレー機能

有線 LAN 側のリンクダウン時に、無線側のリンクも切断する、リンクリレー機能が追加されました。リンクリレー機能は、WDS 設定で「アクセスポイントモード」を選択した場合に、機能します。(有線側のリンクが確立していないと、無線側の通信はできません。)

3.8 WMM 機能

WMM (Wi-Fi マルチメディア。ネットワーク上のオーディオ・ビデオや音声アプリケーションに優先順位を与え、競合するアプリケーションに対する帯域幅の割り当てを最適化する) 機能が追加されました。

4 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 1.0.1 から 2.0.0 へのバージョンアップにおいて、下記の項目が修正されました。

- 4.1 ユーザー名に「: (コロン)」を使用すると再ログインできなくなることがありましたが、これを修正しました。また、「" (ダブルクォーテーション)」を使用するとユーザー名が正しく表示できなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 4.2 設定ファイルの読み込みが終わったときに表示される、再起動を促すダイアログボックスに表記の誤りがありましたが、これを修正しました。
- 4.3 他製品の検索リクエストに対して、AP 情報を返してしまうことがありましたが、これを修正しました。
- 4.4 MAC アドレスフィルタリングの設定で、登録するアドレスの先頭フィールドしか、アドレスの重複チェックの対象になっていませんでしたが、これを修正しました。
- 4.5 MAC アドレスフィルタリングの設定で、同じ MAC アドレスを登録しようとしたときに表示されるメッセージが英語のままでしたが、これを修正しました。
- 4.6 MAC アドレスフィルタリングの設定で、256 個を超えて、MAC アドレスを登録しようとしたときに表示されるメッセージが英語のままでしたが、これを修正しました。
- 4.7 セキュリティ設定で、認証方式の「WPA-PSK」を選択した場合に、設定の必要のない、WEP 暗号化の「入力形式」および「WEP 暗号強度」の項目が入力できる状態になってしまうことがありましたが、この項目が表示されないように修正しました。
- 4.8 本製品の起動後 1 分以内に、設定ファイルの読み込みを行ってから再起動すると、読み込んだ設定内容が反映されないことがありましたが、これを修正しました。
- 4.9 本製品のフラッシュメモリーに対する排他制御を追加しました。
- 4.10 TCP timestamp option に対する脆弱性への対応を行いました。

5 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 2.0.0 には、以下の制限事項があります。

5.1 RADIUS サーバーの切り替えについて

参照 「ユーザーマニュアル」 73, 75 ページ

認証方式で「IEEE 802.1X」、「WPA」または「WPA2」を選択し、本製品にセカンダリー RADIUS サーバーを設定している場合に、弊社製無線 LAN カード「CentreCOM WR540CB」で「再接続」ボタンをクリックし続けると、プライマリー RADIUS サーバーからセカンダリー RADIUS サーバーに、自動的に切り替わりません。無線 LAN カードが認証待ちの状態の間は、「再接続」ボタンをクリックしないでください。

5.2 SSID の設定について

参照 「ユーザーマニュアル」 44, 46, 64 ページ

- ・ 全角文字、全角空白および全角ダブルクォーテーションを入力すると、SSID が正しく表示されなくなる場合があります。SSID には、半角英数字および記号を使用してください。
- ・ 簡単設定で、SSID に半角ダブルクォーテーションを入力できる場合がありますが、SSID には半角ダブルクォーテーションは使用できません。

5.3 設定ファイルの読み込みについて

参照 「ユーザーマニュアル」 55, 86 ページ

設定ファイルの読み込みで、「設定ファイル」に入力したファイル名が正しくないと、読み込み確認や読み込み完了のダイアログボックスが表示されず、設定ファイルの読み込みは行われません。読み込む設定ファイルは、「参照 ...」ボタンをクリックして選択してください。

5.4 IP 設定について

参照 「ユーザーマニュアル」 63 ページ


- ・ IP 設定で、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスの設定を変更した場合、IP アドレスを変更していないにも関わらず、「変更した IP アドレスで再接続してください」のダイアログボックスが表示され、その後に英語のメッセージも表示されることがありますが、接続し直す必要はありません。
- ・ IP 設定で、サブネットマスクに「255.255.255.256」以上の値を入力した場合、エラー画面が表示されます。設定は無効です。Web ブラウザーの更新ボタンをクリックすると、元の表示に戻ります。

5.5 システム名とドメイン名の設定について

参照 「ユーザーマニュアル」 78, 82 ページ


デバイス情報のシステム名および DHCP サーバー設定のドメイン名に、ダブルクォーテーションを使用すると、正しく表示できなくなる場合があります。

5.6 ログについて

 **参照** 「ユーザーマニュアル」 79 ページ


- ・ セキュリティー設定で、オープンシステム認証または両方を選択し、WEP 暗号化を有効にして WEP キーを設定した場合、無線端末側に本製品と異なる WEP キーを設定すると認証は成功しませんが、ログ上では正しく動作しているように表示されます。
- ・ 無線端末から本製品に、正しくないユーザー名またはパスワードを使用してログインしようとする、1 度目はログが表示されますが、2 度目にはログが表示されません。
- ・ アクセスコントロール設定で、接続を許可するものとして MAC アドレスが登録されている無線端末で、本製品と接続を行うと syslog サーバーにログが送信されますが、再接続を行った場合にはログが送信されません。
- ・ syslog/SNTP 設定のログレベルで設定したレベルと異なるログが syslog サーバーに送信される場合があります。

5.7 MAC アドレスフィルタリングの設定について

 **参照** 「ユーザーマニュアル」 68 ページ

256 個を超えて、MAC アドレスを登録しようとしたときに表示されるメッセージに表記の誤りがあります。

5.8 認証方式の設定について


 **参照** 「ユーザーマニュアル」 71 ページ

認証方式で「両方」を選択した場合、WEP 暗号化は有効に設定されるはずですが、有効にチェックがつかない場合があります。WEP 暗号化の項目は、有効にチェックをつけてください。

6 ユーザーマニュアルの補足

同梱のCD-ROMに収録されている(613-000053 Rev.B)ユーザーマニュアルの補足事項です。

6.1 認証方式の設定について

 **「ユーザーマニュアル」70ページ**

本製品の認証方式と、無線端末の認証方式には、同じ方式を設定してください。WPAとWPA2、WPA-PSKとWPA2-PSKの組み合わせで設定することはできませんので、ご注意ください。

6.2 SNMP (サポート対象外)

本製品はデフォルトでSNMP (サポート対象外) が有効になっています。セキュリティを重視する場合は、Telnet クライアントからネットワーク経由で本製品にログインして下記のコマンドを実行し、SNMPの設定を削除してください。

下記の説明は、Windows XP から実行するものとして記載します。

- 1 Telnet クライアントを起動します。
「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。「名前」ボックスで「TELNET 192.168.1.230」のように、TELNET に続けて本製品のIPアドレスを指定します。
- 2 Telnet セッションが確立すると、「login:」プロンプトが表示されます。
「login:」の後にユーザー名(デフォルトは「manager」)を入力して、Enter キーを押します。「password:」の後にパスワード(デフォルトは「friend」)を入力して、Enter キーを押します。
- 3 下記のコマンドを入力してSNMPの設定を削除します。
snmp deluser initial
snmp delview restricted all
snmp delview CommunityView all
snmp delcomm public
snmp delcomm private
snmp delgroup initial
snmp delgroup ReadGroup
snmp delgroup WriteGroup

- 4 SNMP の設定が削除されていることを確認するには、下記のコマンドを入力します。
snmp showuser
snmp showgroup
snmp showview
snmp showcomm

コマンド実行後、メッセージに「xxxx xxxx Table is empty !」と表示されれば、SNMP の設定は削除されています。